

『ふくしゅうさん』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『ふくしゅうさん』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『ふくしゅうさん』を読んだことのある10代～50代の男女17名
調査期間	2026年2月2日～2026年2月3日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/hukusyusuan/

■アンケート項目

- Q1: 年代と性別を教えてください。
- Q2: 『ふくしゅうさん』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	2人
30代女性	3人
40代男性	0人
40代女性	7人
50代男性	5人
50代女性	0人

Q2: 『ふくしゅうさん』の感想を教えてください。

ふくしゅうさん 1話	予想以上に過激な内容でした。正への扱いも相当でしたけど、ここまでするとは想定外。正を苦しめるために、その姉までも標的にするとは驚きです。しかも、襲うのはもちろん、殺人にまで及ぶなんて信じられません。それも面白がっているのですから、外道過ぎますね。気になったのは、
------------	---

	正に声を掛けてきた人物です。この時点では人かどうか分かりません。しかし、タイミング的に都市伝説のふくしゅうさんである可能性は高いのではないのでしょうか。どのような復讐をしてくれるのか楽しみです。
ふくしゅうさん 1話	典型的なクズというか、クズ通り越して人間じゃない奴らに犯罪と同等の事をされていて、主人公があまりにも悲惨でしたが、先生達も見えて見ぬふりってことは、よっぽどあのグループ達が厄介で関わりたくない相手っぽいので、一筋縄ではいかなそう。今後ふくしゅうさんが、どうやって復讐してくれるのか楽しみだけれど、後ろから普通に現れたってことは、ふくしゅうさんは人間だったりするのかな？
ふくしゅうさん 1話	その後の復讐がスカッと展開になるのは分かっていますが、やはり最初のシーンというのは心が痛くなってしまいますね。子供は天使なんていうのはまやかしかできない、よくここまでことができる。少しずつ心が死んでいく、更には姉も死んでしまっ。この世に神も仏もないのか。これは漫画ですが、実際にこういう目に合ってる子がいるんですね。
ふくしゅうさん 1話	親を亡くし姉と2人で暮らす正が、苦勞する姉を絶対に幸せにしたいと誓うも、同級生に姉が殺されたと知り、悪いことは必ず自身に返ってくるとふくしゅうさんに願いを掛けると、1人の男性が現れ返事をするところに希望が持てました。たとえ、ふくしゅうさんと友だちになれば不審な死を遂げると言われても、唯一の肉親さえ失った正には、それよりも復讐することの方が大事だという気持ちが痛いほど伝わってきました。
ふくしゅうさん 2話	兇山の父親が意外でした。兇山の金遣いの荒さからして、相当な親バカなのかと思っていたんですね。お小遣いの金額は多すぎるとは思いましたが、バイトでもしたらどうだと突き放す一面もあったとは想定外。育て方が悪いというより、兇山本人がどうしようもない奴なんだろうなって思いました。気になったのはラストシーンです。兇山は正の姉を殺しただけでなく、お金まで奪おうとして正を殴り倒していました。大切な友人が暴行を受けている場面を見て、ふくしゅうさんも感じるものがあつたのではないのでしょうか。兇山がどのように結末を迎えるのか、とても楽しみです。
ふくしゅうさん 2話	1話の最後に現れたふくしゅうさん。でも無償でしてくれるわけではないんですね。ここでの報酬とはお友達契約。これが吉と出るのか凶となるのか。とりあえず、今のただこの暮らしから離れた領域へと進んだことは確かです。復讐のやり方がなんともグロくて、ただ殴るだけよりもむしろ心おられてしまいます。
ふくしゅうさん 2話	怖いのはやはりひどいことをする子たち。彼らに人の心はないのでしょうか。まさかの保険金を当てにすると、子供とは思えない姿ですね。将来が心配です。そんな奴らに対峙するふくしゅうさん。正義の味方であるはずなのですが、この存在もまた不気味です。復讐が楽しいって、精神的に病んでいる。こんなのと友達になって、果たしてそれは良いことなのでしょうか。
ふくしゅうさん 2話	1話が凄く胸糞展開で、読んでいて「早く復讐して！！」とうずうずしました。2話ではいよいよ謎のイケメン《ふくしゅうさん》との友達契約がスタートし、2話はこれから主人公・正とふくしゅうさんによる、今SNSでも騒がれているいじめへの復讐が本格的に始まるんだろうなという準備回でした。悪い事は返ってくる。是非それを倍以上にして返してやってくれ！！と期待を抱かせるわくわく回でした。
ふくしゅうさん 3話	ふくしゅうさんの手際の良さに驚きました。兇山を罠にハメしましたが、ふくしゅうさん自身は何ら犯罪を犯していないんですね。それっぽい雰囲気を出して、怪しいバイトの紹介をただけ。兇山が勝手にふくしゅうさんをそういう人だと思っただけなのですから。そのバイトに関しても、ふくしゅうさんは何もしていません。仮に警察の手がふくしゅうさんにのびたとしても、嘘をつくなど注意されるくらいのことでしょう。兇山は罠にかかりましたが、それは兇山の自業自得。どんなひどい目に遭うのか、早く続きが見たいです。
ふくしゅうさん 3話	ただ殴られて終わりじゃないのがふくしゅうさんのやり方のえげつないところ。悪人で欲の皮が張る兇山だからこそ、さらなる地獄へといざなわれた。選んだのは自分自身です。だから怖い。うまい話なんてそうあるわけがないのに、もしかして自分だけ・きつこの話だけは当たり。そう思っ。突っ走っていく。現代の若者の中にもそうやって身を崩した人たちはたくさんいます。

ふくしゅうさん 3 話	兇山の非道さが目立つシーンが多かったので早くふくしゅうさんにやられてしまえと思いつつ、どうなってしまうのかわからない緊張感も楽しめるエピソードでした。ふくしゅうさんは知能と計画性も高いので、関係ないような行動に見えたとしても実は壮大な計画に繋がっていると思うとワクワクします。最後に不穏な終わり方を見せてきたので、次の巻ではさらにやばい展開を期待できそうです。
ふくしゅうさん 4 話	正の言う通りだなんて感じました。兇山は正や遥にあれほど酷いことをしたというのに、全く悪いと思っていないんですよね。伊野田たちにも然るべき報いを受けさせて欲しいです。正を訪ねてきた女性が気になりました。ふくしゅうさん関係の人なのか、伊野田たちによる新たな嫌がらせなのか、現時点ではどちらかわかりません。とはいえ、今後の展開に大きく関わってきそうな気がしますし、注目したいです。
ふくしゅうさん 4 話	正義は勝つ、とかテレビ番組ではあるけれど現実にはそんなこともないんですよね。懲らしめてめでたしめでたしとも言いきれない。そもそも兇山は最後まで罪を認めようとはしないのです。だからこそあれだけの卑劣なことができたわけですね。結局は植物状態となって生き続ける。それは望んだ姿なのでしょう。
ふくしゅうさん 4 話	結局は最後まで自分の罪を認めず、植物人間となってしまった。こういう漫画でのスカッとを求めているなら消化不良に終わっちゃうかもしれませんね。でもこれこそリアリティがあっていろいろと考えさせられます。そして、こんなことをしておきながら笑顔でプリクラをとっているふくしゅうさんの存在こそが最も恐ろしいのです。
ふくしゅうさん 5 話	見事な逆転劇でした。あまりにも伊野田ペースで進んだため、ふくしゅうさんもヤバイのではと不安を覚えたほどでした。しかし、すべてが計画通りだったんです。流石はふくしゅうさんといったところでしょうか。ひどいことをするような人間には、それをされる苦しみや恐怖を味わわせるしかありません。ふくしゅうのやり方も伊野田にはピッタリだったと思いますし、スカッとしました。
ふくしゅうさん 5 話	ふくしゅうさんがまさかの女装をしたり、なかなかインパクトの強いエピソードで面白かったです。そして藤守は今までこの作品に出てきた悪人の中でもトップクラスにヤバイやつなので、ふくしゅうさんも徹底的にこらしめてやろうと思ったのではないのでしょうか。ただ藤森もなかなかのくせ者なので、計画が上手くいくのかわからずにドキドキさせられました。
ふくしゅうさん 5 話	復讐代行してくれるふくしゅうさん。まさかのこの巻では女装姿を披露してくれました。それにしても、藤守が思った以上に下種でした。こんな奴が世の中で当たり前に暮らしているというのが怖い。でも結局は悪意があるからこそ足元をすくわれて自分がやられる羽目になった。親も親なら子も子。負の連鎖というのはどこから断ち切らなければ